



TSURU CITY

夏号

2022
No.204

令和4年8月1日発行

つる 都留市 議会だより



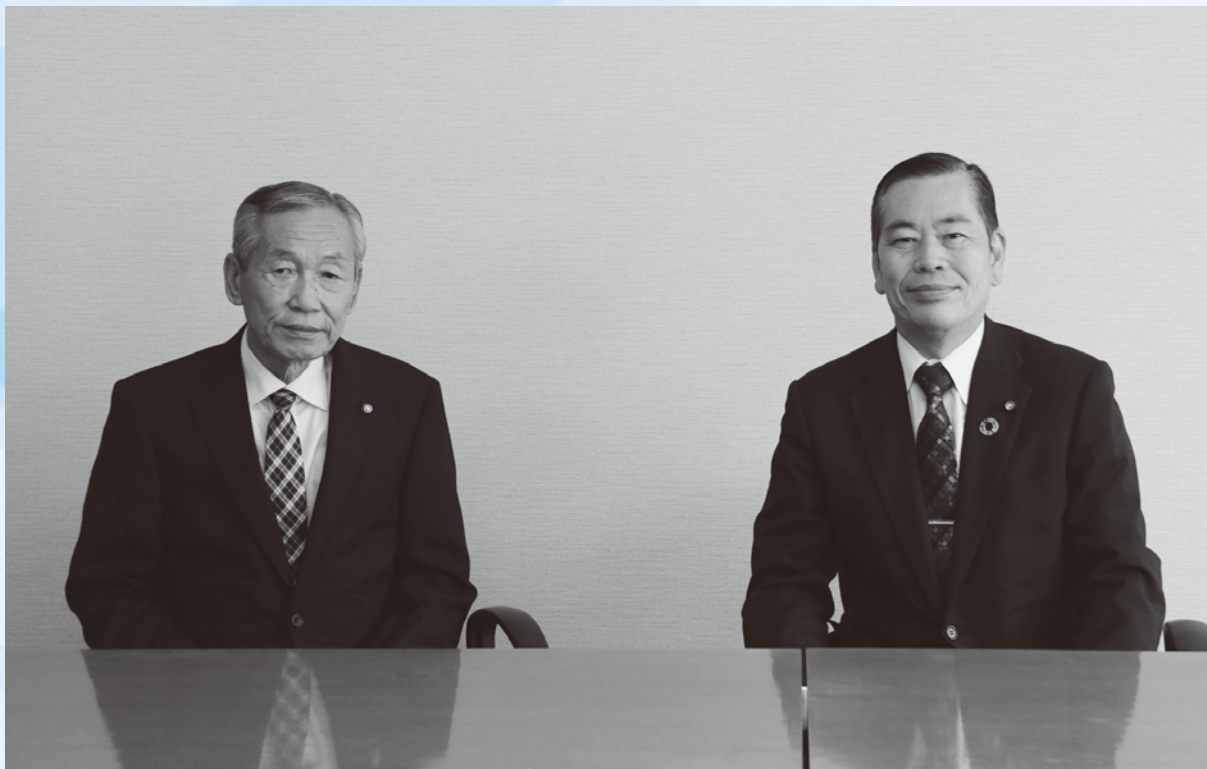
3年ぶりの開催!都留市体育祭り

～地域の誇りを胸に躍動するランナー～

正副議長就任あいさつ… 2
 市長所信表明 …………… 3
 定例会で決まったこと 他…4~5
 代表質問・一般質問…6~8
 常任委員会等委員構成 他…9

各委員会の審査内容と結果…10~11
 定例会議案議決結果 他…12
 議会活動報告 他……………13
 未来を紡ぐ~若者×議会~他…14

天野 利夫議長、谷垣 喜一副議長 就任あいさつ



私共は、令和4年6月定例会におきまして、議員各位のご支持、ご推挙をいただき、議長並びに副議長に就任いたしました。限りない光栄と存じますと同時に、改めて責任の重さをひしひしと感じている次第であります。

今、社会状況は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響やロシアのウクライナへの侵攻などによる経済活動の停滞、生活用品や食料品などの急激な価格高騰など、さまざまな問題が起きており、本市の市民生活においても日常生活をはじめ経済活動に至るまで色々な形で多大な影響を受けております。現状、これらの影響は、先行きが見えない状況にあつて、大きな不安と閉塞感を抱えての生活を余儀なくされておりますが、市民の皆様暮らしが少しでも豊かになるよう、こうした様々な社会問題にも積極的に取り組み、行政と連携し、両輪となりながら誠心誠意、最善の努力を尽くしてまいる所存でございます。

さて、人口減少社会を迎え、地方創生への真摯な取り組みが求められる中、議会の果たすべき責任や役割はより一層大きく、また重くなっております。市議会は、市民の皆様から負託を受けた二元代表制の一翼を担う意思決定機関であり、市民のために審議をし、決定をしていかなければならない責任ある立場であります。我々は議会人として、市民の皆様の視線を大切に、皆様にとって都留市が住みやすく、住み続けたいまちとなるよう、皆で知恵を出し合い、活発な議会運営を目指してまいります。

市民の皆様には、今後とも、市議会に対し、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

市長の所信表明



ARを活用した勝山城のデジタル復元(イメージ図)

○「第6次都留市長期総合計画後期基本計画」の策定について

平成28年度からスタートした、まちづくりの指針である第6次都留市長期総合計画の「中期基本計画」が本年度をもって終了するため、計画の総仕上げを担う「後期基本計画」の策定に取り掛かっている。これに先立ち、本年市民を対象に意識調査を実施したが、行政として、さらなる市民満足度を追い求めていくべき点やさらなる成果を求めていくべき点など、市民のこのまちへの思いと行政への意向が如実に反映されていた。

中でも市民からの期待が高かった、公共交通や医療体制の充実といった分野は、調査結果を詳細に分析し、これまでの取り組みをさらに加速させ、成果を挙げられるよう具体的な手立てを考えていく。

また、「働き場所の確保」が必要との回答も数多く寄せられたが、本市は限られた土地においてさまざまな制限のある中で「企業誘致」を検討していかねばならない。しかし、新型コロナウイルス感染症や不安定な国際情勢の影響により、サプライチェーンを見直し、生産拠点

等の国内回帰を進める動きが官民を通じて強いことから、中長期的なビジョンを持ち、企業立地支援条例の見直しや関係法令との調整を図りながら、「都市計画マスタープラン」との調和を図り、積極的に企業誘致を進めていく。

○「観光振興」について

新型コロナウイルス感染症の流行により、日本の観光スタイルは、近場の地域の魅力を再発見する「マイクローツーリズム」へと大きく変容しており、本市でも「都留アルプス」等を中心にトレッキングの人氣が高い。また、過去2年にわたり開催中止となった「ふるさと時代祭り」は、感染防止対策を徹底する中で開催することができるよう、本年度は、「ふるさと時代祭り実行委員会」が準備を進めているが、この復活開催により、貴重な歴史と伝統を継承していくとともに、閉塞感のある現状に少しでも希望が生まれ、活気が戻ることを期待している。

さらには、観光客の誘致と地域活性化を促進するため、リアル観光に加えARを駆使した「富士の麓の小さな城下町つるデジタルプラットフォーム」を構築し、勝山城のデジタル復元を可能とするほか、インターネットを利用した観光コンテンツを整備し提供することで、史跡としての知名度向上とシビックプライドの醸成を図り、お城山が「つる観光」の拠点となるよう、アフターコロナを見据えた具体的な観光事業を推進していく。

ARとは…オーグメンテッド・リアリティの略。現実を仮想的に拡張する技術のこと。

令和4年6月定例会で決まった主なこと

条例改正（4件）

承第1号 専決処分の承認を求める件（都留市国民健康保険条例中改正の件）

地方税法施行令等の一部改正に伴い、国民健康保険の被保険者間の保険税負担の公平性を確保するため、国民健康保険税の課税限度額及び軽減措置の判定基準額を見直す。

●基礎課税額（医療分）

〔改正前〕63万円↓〔改正後〕65万円

●後期高齢者支援金等課税額（支援金分）

〔改正前〕19万円↓〔改正後〕20万円

承第2号 専決処分の承認を求める件（都留市税条例中改正の件）

地方税法等の一部改正に伴い、景気回復に万全を期すため、土地に係る固定資産税の負担調整措置について、激変緩和の観点から所要の措置を講ずること等について改正を行う。

●固定資産税 「課税標準の特例措置の創設」 貯留機能保全区域として知事等の指定を受けた土地の課税標準額を最初の3年分について価格に3/4を乗じた額とする

●固定資産税 「省エネ改修税額の減額措置」 対象とする建築年月日の拡充、工事要件の対象を追加、適用期限の延長（2年）

●固定資産税 「負担調整措置」 商業地等について、令和4年度限りの激変緩和措置として、課税標準額の上昇幅を2・5%とする（現行5%）

議第36号 都留市介護保険条例中改正の件

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したと等による介護保険第一号保険料の減免を継続する。

※11ページ社会厚生常任委員会「主な質疑内容」もあわせてご覧ください。

ほか1件

補正予算（5件）

議第35号 令和4年度都留市一般会計補正予算（第1号）

■1億316万9千円を追加

《主な歳出の内容》

●民生費

4千306万8千円を追加

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少等で、経済的に厳しい子育て世帯を支援する。（子ども一人あたり5万円を支給）

給）

●衛生費

6千10万1千円を追加

新型コロナウイルス感染症に係る4回目のワクチン接種費用

60歳以上の方と基礎疾患を持つ方を対象に4回目接種を実施するための経費など

議第41号 令和4年度都留市一般会計補正予算（第2号）

■1億1千165万円を追加

《主な歳出の内容》

●民生費

126万8千円を追加

保健福祉センター（いきいきプラザ都留）に抗ウイルス対策に有効なコーティング剤を散布する経費

●衛生費

2千997万5千円を追加

飼い猫と飼い主のいない猫を対象に不妊・去勢手術費を補助す

る経費、病院事業会計繰出金など

※11ページ社会厚生常任委員会「主な質議内容」もあわせてご覧
ください。

●農林水産業費

「道の駅つる」のPOSレジシステム（非接触型の決算手段）
機器更改とWiFi環境整備に
要する経費など

3千262万3千円を追加

●土木費

2千700万円を追加
舗装長寿命化修繕計画をもとに、
優先度の高い路線の補修工事を行
う経費（上戸沢朝日線舗装補修工
事 ほか2件）

●消防費

561万3千円を追加
救急活動訓練用高度シミュレー
ター人形を整備する経費など

●教育費

297万1千円を追加
ミュージアム都留にWiFi環
境を整備する経費など



ミュージアム都留

議第44号 令和4年度都留市病院事業会計補正予算（第1号）

●病院事業

3千909万5千円を追加
感染拡大防止対策用・個人防護具の整備、トイレ改修費用など

●介護老人保健施設「つる」

965万6千円を追加
感染拡大防止対策用・リハビリ用訓練器具の整備、トイレを新た
に整備する経費など

ほか2件

その他（6件）

議第45号

契約締結の件（「生涯活躍のまち・つる」複合型居住プロ
ジェクト地域交流拠点施設建設工事（2期工事））

契約金額 220,000,000円

工期 令和4年6月20日から令和5年2月28日まで

議第46号

契約締結の件（東桂地域コミュニ
ティセンター建設工事）

契約金額 259,600,000円

工期 令和4年6月20日から
令和5年2月28日まで

ほか4件

人事案件（2件）

議第48号

固定資産評価審査委員会の選
任について同意を求める件

○固定資産評価審査委員会委員

上谷 清水 克彦

議第49号

固定資産評価委員の選任について同
意を求める件

○固定資産評価委員

道志村 山口 哲央

過去の議会だよりや会議録はホームペ
ジでご覧いただけます。

また、冊子版の会議録は、議会事務局、
市立図書館、都留文科大学図書館、各コ
ミュニティセンターにも備えてあります
ので、ぜひご活用ください。



市議会ホームページ



会議録検索システム

6月定例会
会期日程

◆6月2日 本会議

（開会）

◎会議録署名議員の
指名

◎会期の決定

◎提出議案の市長説
明並びに所信表明

◎議案審議

◎常任委員会委員及
び議会運営委員会
委員の選任

◎議案の委員会付託

◆6月13日 本会議

◎代表質問

◆6月14日 本会議

◎一般質問

◆6月15日

◎常任委員会

◆6月17日 本会議

（閉会）

◎委員長報告

◎議案審議



ビジョン21 国田 正己議員

「牛石地区農振農用地を将来に向かって工業団地化に」のその後の進捗状況は

問 「厚原牛石地区農地の利用に関する地権者意向調査」の結果は。

答 調査対象者は116名であり、有効回答率は75・9パーセントであったが、土地利用の転換や産業振興への活用意向が多い中においても、一定程度、耕作を継続したい方がいることも把握できた。この結果から、産業振興ゾーンと営農ゾーンに区分する、いわゆるゾーニングなどの工夫を講じることも検討し、都市計画と農林漁業の健全な調和を図るための土地利用調整を推進していきたい。

問 生産拠点等の国内回帰を進める動きが官民を通じて強い中、どのように進めるのか。

答 国は国内回帰や多元化を通じた強固なサプライチェーンの構築を支援することとしているため、市としても、「都市計画マスタープラン」において、企業誘致による産業振興を目指し、関係法令との調和を図りながら、有効的な土地利用が可能となる土地利用方針を定めていく。そのうえで、地域経済の循環促進と持続化のため、厚原牛石地区に限らず、市内全域において、地域の实情に合わせた企業立地支援と企業誘致の実現に努めていく。

問 企業立地支援条例の見直しは。

答 現行条例は、適用事業者が少なく

見直しが必要である。国や県の動向を踏まえながら、関係法令等との整合性を図りつつ、市の現状に即した見直しを行っていく。

問 「都市計画マスタープラン」の改定は。

答 令和4年度中の計画改定を目指している。アンケート調査や市民懇談会を実施し現況の把握と課題を整理した結果、改めて企業誘致への市民ニーズの強さを認識した。これらを踏まえ、庁内検討会及び都市計画審議会において計画案を作成し、住民説明会等で市民の意見を伺い、議会の審議を経て、改定・公表する予定。

問 積極的な企業誘致の具体策は。

答 市内全域では、地域の实情に合わせた条件緩和策を十分検討しながら進める必要がある。特に、厚原牛石地区農振農用地のような第一種農地は、農地転用は原則不可であり、工業系の土地利用への転換は困難な状況であるが、地権者意向調査の結果から、国の基本方針に基づき、県が策定する「推進計画」の重点促進区域に位置付けることで、農振農用地からの除外及び転用が可能となるため、まずは県との協議を進めていく。

この実現には、水利組合への影響、ゾーニングに伴う用地の調整、埋蔵文化財

に関する協議や基盤整備など課題が多くあるが、積極的な企業誘致に向け取り組んでいく。

学校給食について

問 物価上昇分の全額補助及び地方創生臨時交付金の活用は。

答 物価の高騰により経済的な負担が増大していることから、交付金を活用し、臨時的に一定期間、全児童、生徒の学校給食費を無償化するための準備を進めている。

土地開発公社について

問 今後の役割に対する行政の見解について。

答 土地開発公社はその存在価値が薄らぎ、他の自治体でも解散や経営健全化に取り組んでいる。本市も平成18年度から計画的に公社保有地の買い取りを進め、令和12年度末には金融機関の債務は解消見込みであるが、未売却分譲地の売却もあるため、引き続き存続させていく。また、企業誘致の際には、公社の活用も想定されるため、当面は着実に債務解消に取り組み、引き続き健全な経営を目指していく。

建設残土の処理に関する市の考えを問う



議員 武彦 志村 新政つる

問 現在の建設残土処分状況と残土処分量について。

答 発生残土処分量500立方メートルまでは自由処分とし、処分費は計上せず運搬距離4キロメートルで運搬費を設計に計上している。また、500立方メートルを越える部分は、市と契約している処分場への指定処分とし処分費と運搬費を設計に計上している。令和3年度は建設発生土が発生する全ての工事で自由処分となっており、処分状況は契約している2箇所の処分場での処分が26件、受注事業者の仮置き場へのストックが13件である。

問 建設残土処分への指導は。

答 「山梨県建設副産物適正処理推進要綱」に基づき指導している。

問 建設残土処分後の確認は。

答 工事着手前は「再生資源利用促進計画書」にて、工事完了時には「再生資源利用促進実施書」及び「建設副産物処理状況証明書」で確認している。

問 建設残土の一年間のおおよその量は。

答 令和3年度の残土発生工事は39件、実処分量は約2千920立方メートル（小学校のプール約8杯分）である。

問 残土処分費の設計見積り時の積算は。

答 500立方メートルまでの残土は自由処分とし、処分費は計上していない。

問 今後の残土処理についての本市の考えは。

答 本年5月に国の指針が一部変更され、運搬・処分等に要する費用を明記することになったため、令和5年度発注工事から処分費用を適切に計上できるように協議を進めている。



都留市教育振興基本計画と教職員の働き方改革を問う

問 都留市教育振興基本計画53施策の現在までの取組状況は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から3年度は計画遂行が非常に困難であったが、学校現場は懸命に学習活動を継続し、生涯学習分野では各事業を停滞させないため感染防止対策を図り可能な範囲での取り組みを実施した。

問 アフターコロナを見据えた令和6年度までの実施計画の見込みは。

答 SAT活動などによる学習支援のほか、英語教育の充実やセーフコ

ミュニティの学校版である「インターナショナルセーフスクール」の認証取得に向けた活動にも取り組む。また、「市民大学事業（シリウス・カレッジ）」や健康づくり事業の強化など健康教育とスポーツ機会の充実を図っていく。

問 文化芸術・スポーツ・文化活動への今後の支援は。

答 各種団体への相談・連携体制の強化、事業ガイドライン作成支援、抗ウイルス対応の空調や換気設備、検温器や消毒液等の充実並びにWi-Fi環境の整備等を行い「安全・安心」に大会運営ができ、不安なく行事に参加できる体制を強化する。

問 Society5.0社会実現に向けた教職員への対応と働き方改革について。

答 子どもたちに「たくましく生きる力」を育むためにも教師の自分である教育活動にこれまで以上に力を注ぐ必要がある。優先順位をつけて業務を減らし、社会全体で子どもたちを育む体制を急速に構築していくことが必要である。子どもたちがこの変化の激しい社会を生き抜く力をしっかりと育んでいくとともに、教職員の働き方改革を着実に進めていくことが可能となるよう、教育委員会として最大限の支援を行っていく。

公立小中学校の適正規模・適正配置について



日向 美徳 議員

問 今後予定するさまざまな機会を通じた交流について。

オンラインでの交流等も考えている。また、とに複数回設ける予定である。また、

答 旭小学校の全児童が禾生第一小学校に訪問し、学年ごとに分かれ、互いに自己紹介などを行った。今後は、禾生第一小学校の児童が旭小学校へ訪問する交流のほか、旭小学校の児童が禾生第一小学校を訪問する機会を学年ごとに複数回設ける予定である。また、

答 最大の課題は、統合後に両校の児童がすんなりと馴染めるようにすることである。また、子どもたち

問 統合準備を進めるうえで、課題は、

答 5月31日に両校の4年生が同じバスに乗り社会科見学会を実施した。なお、禾生第一小学校の児童が旭小学校を訪問する際には、歴史の深さと自然環境のすばらしさを感じる交流やレクリエーション等を中心に、より親交を図っていく。また、放課後子ども教室等を活用して、統合前から親しくなれるよう支援していく。

答 庁内の専門チームにて地域の意見も取り入れながら検討する。なお、地元自治会等から具体的な提案を受けた場合は、十分に配慮し決定する。

問 統合後の旭小学校の利用について、地域にどのような対応をしていくのか。その具体的な計画は。

を第一に考えるうえで、保護者をはじめ地域の皆さんの理解は必要不可欠であるため今後十分な意見交換を行っていく。



県からの「ぴゅあ富士」譲与について



山本 美正 議員

市に無償譲渡する。」との回答があつ

問 これまでの経緯は

答 県が、令和4年度末に「ぴゅあ富士」を甲府市の「ぴゅあ富士」閉館後の集約を決定し、「ぴゅあ富士」閉館後は、新たな活動拠点を設けることを示したこと、市と県で「ぴゅあ富士」の存続等に関し協議を重ねてきた。市では、譲与を受ける場合であっても、県で大規模改修・長寿命化改修を施した後に、譲与を受けることが賢明として、施設改修等を要望した結果、「県が施設利用者の利便性及び安全性確保のために必要な措置を実施したうえで、市に無償譲渡する。」との回答があつ

答 譲与後の施設内に設ける「女性団

問 県が一部借り受けるスペースについて。

問 県が実施する改修内容は、主要設備の改修も含め県で実施することとなり、今後、長期にわたる。り大規模改修の必要性はなく活用できる。

いく。



答 的に生涯学習機能をマネジメントし、引き続き市民の活動拠点として、男女共同参画の推進、生涯学習の推進につなげていく。

問 譲与後の利活用について。



常任委員会等委員構成

令和4年6月2日就任

社会厚生常任委員会	総務産業建設常任委員会	議会運営委員会
<p>〔市民部（市民課 税務課 地域環境課）、福祉保健部（福祉課 長寿介護課 健康子育て課）、都留市立病院・介護老人保健施設「つる」及び教育委員会の所管に関する事項〕</p>  <p>委員長 小澤 眞</p>	<p>〔総務部（総務課 企画課 財務課）、産業建設部（産業課 建設課 上下水道課）、会計課、消防本部、議会事務局及び農業委員会の所管に関する事項並びにその他の常任委員会の所管に属さない事項〕</p>  <p>委員長 小林 健太</p>	<p>〔議事運営及び議長の諮問に関する事項〕</p>  <p>委員長 藤江喜美子</p>
<p>副委員長 日向 美徳</p> <p>委員 山口 一裕 志村 武彦 奥秋 保 藤本 明久 谷垣 喜一 小俣 義之</p>	<p>副委員長 小俣 哲夫</p> <p>委員 天野 利夫 山本 美正 藤江喜美子 鈴木 孝昌 国田 正己 小俣 武</p>	<p>副委員長 小俣 武</p> <p>委員 山口 一裕 小俣 哲夫 山本 美正 小澤 眞 国田 正己</p>

会派構成

令和4年7月12日現在

新政つる	つる清流会	木曜クラブ	ビジョン21	創明会
<p>代表 志村 武彦 天野 利夫 藤江喜美子</p>	<p>代表 山口 一裕 谷垣 喜一 日向 美徳</p>	<p>代表 鈴木 孝昌 小俣 義之 山本 美正</p>	<p>代表 奥秋 保 小俣 武 国田 正己</p>	<p>代表 小俣 哲夫 小林 健太 小澤 眞 藤本 明久</p>

◎議会を初めて傍聴させていただきました。
議題・議案に対してより活発な意見を交わして討論される事を望みます。

(下谷 K・S)

◎市内の具体的な事項について計画段階から展望まで知ることができ、とても参考になりました。

(谷村 Y・O)

傍聴席の声

議会を傍聴しませんか？
9月定例会では、決算特別委員会も行われます。



次回の定例会は、
8月31日(水)
開会予定です。

委員長：小林 健太 副委員長：小俣 哲夫
委員：小俣 武、国田 正己、鈴木 孝昌、藤江 喜美子、山本 美正、天野 利夫

付託された議案6件(条例1件、補正予算1件、事業会計補正予算2件、その他2件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

■審査した議案(付託議案)

- ・議第37号 都留市営住宅条例中改正の件
- ・議第38号 公立大学法人都留文科大学の出資等に係る不要財産の納付の件
- ・議第39号 公立大学法人都留文科大学定款中変更の件
- ・議第41号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第2号)
- ・議第42号 令和4年度都留市簡易水道事業会計補正予算(第1号)
- ・議第43号 令和4年度都留市下水道事業会計補正予算(第1号)



委員会の様子

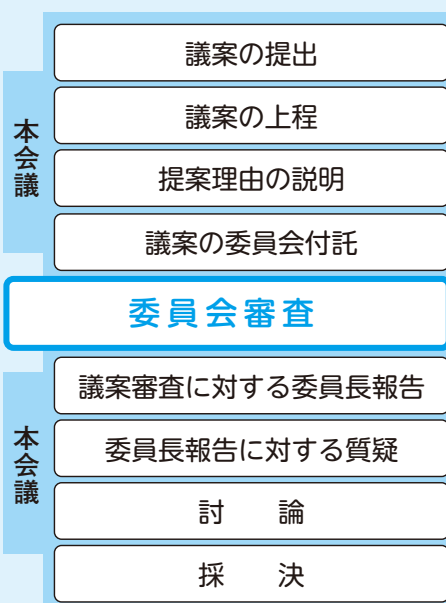
※議第41号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

※委員会では、令和4年度 都留市一般会計補正予算(第2号)の一部、歳入については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金についてなど、また、歳出については、「道の駅つる」の管理運営事業等々、慎重な審査が行われました。



議案審議の流れ

委員会には、委員(議員)のほかに担当部長や課長も出席します。
議案の内容について詳しく説明を受け、質疑等を行い、審査をします。
また、委員会の所管する事務についての質問も行うことができます。



社会厚生

常任委員会

6月15日
午後1時30分から

委員長：小澤 眞 副委員長：日向 美德
委員：小俣 義之、谷垣 喜一、藤本 明久、奥秋 保、志村 武彦、山口 一裕

付託された議案 4 件(条例 1 件、補正予算 1 件、事業会計補正予算 1 件、その他 1 件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

審査した議案(付託議案)

- ・議第36号 都留市介護保険条例中改正の件
- ・議第40号 損害賠償の額の決定及び和解の件
- ・議第41号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第2号)
- ・議第44号 令和4年度都留市病院事業会計補正予算(第1号)



委員会の様子

※議第41号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

主な質疑内容

■議第36号 都留市介護保険条例中改正の件

問 減免対象世帯数等の現状と今後の見込みは。

答 本改正により対象となるのは、新型コロナウイルス感染症の影響により生計維持者の収入の減少額が、前年に対して10分の3以上となる場合等である。これまで累計256名、880万300円を減免しているが、令和4年度は、令和3年度の申請者数19名もしくはそれ以下になると考えている。

■議第41号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第2号)の一部

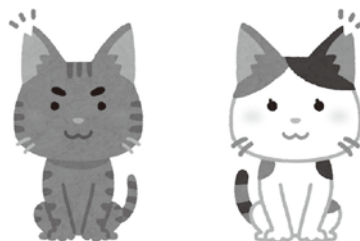
問 【環境保全対策費】TNR活動と野良猫等への今後の対応について。

答 野良猫の繁殖によるふん尿被害などに対しては、どうぶつ基金の無料チケットを利用したTNR活動をやってきたが、今回、県の補助対象が野良猫まで拡大されたため、今後は無料チケットと併用し、野良猫、飼い猫とそのケースに応じ適正に管理していく。

※TNR活動とは

住民やボランティア団体と連携して行う飼主のいない猫を捕まえて(Trap)、不妊去勢手術を行い(Neuter)、元の場所へ戻す(Return)活動のこと。

不妊・去勢手術をした猫の耳は、V字にカットされています。



(さくらねこ-オス) (さくらねこ-メス)

問 【環境政策費】地域再生エネルギー導入目標計画についての市の考えは。

答 都留市地球温暖化対策実行計画「区域施策編」を立てるに当たり、再生エネルギー導入目標計画策定と再生エネルギー設備導入ポテンシャル等の調査を実施し実行計画まで結びつける。現在は、太陽光と水力発電の二本立てに力を入れている。

6月定例会議決結果

(議員別賛否を含む)

区分	議案等名	議員名 議決結果	山口	小俣	志村	小林	日向	天野	奥秋	山本	小澤	藤江喜美子	藤本	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣
			一裕	哲夫	武彦	健太	美徳	利夫	保	美正	眞	明久	孝昌	喜一	正己	義之	武	
市長提出	承第1号 専決処分の承認を求める件(都留市国民健康保険税条例中改正の件)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
	承第2号 専決処分の承認を求める件(都留市税条例中改正の件)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
	議第35号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
	議第36号 都留市介護保険条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第37号 都留市営住宅条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第38号 公立大学法人都留文科大学の出資等に係る不要財産の納付の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第39号 公立大学法人都留文科大学定款中変更の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第40号 損害賠償の額の決定及び和解の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第41号 令和4年度都留市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第42号 令和4年度都留市簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第43号 令和4年度都留市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第44号 令和4年度都留市病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第45号 契約締結の件(「生涯活躍のまち・つる」複合型居住プロジェクト地域交流拠点施設建設工事(2期工事))	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第46号 契約締結の件(東桂地域コミュニティセンター建設工事)	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第47号 損害賠償の額の決定及び和解の件	可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
	議第48号 固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
議第49号 固定資産評価員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	

○は賛成 ×は反対 欠は欠席 ※議長は採決に加わりません。

各会議等における議員の欠席日数状況報告

(R4.4月～R4.6月)

	山口	小俣	志村	小林	日向	天野	奥秋	山本	小澤	藤江喜美子	藤本	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣
	一裕	哲夫	武彦	健太	美徳	利夫	保	美正	眞	喜美子	明久	孝昌	喜一	正己	義之	武
本 会 議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
常 任 委 員 会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
特 別 委 員 会	—	—	—	1	1	—	—	1	1	—	—	1	—	—	1	—
全 員 協 議 会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
議 員 研 修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

○リニア観光振興特別委員会

■令和4年5月12日 山梨県リニア未来創造局リニア未来創造・推進課を訪問

リニア観光振興特別委員会の谷垣委員長と藤本副委員長が山梨県リニア未来創造局リニア未来創造・推進課を訪問し、本市の現状と課題について意見交換をしてきました。

○議会改革特別委員会 ICT化小委員会

■令和4年5月20日 視察勉強会 ～荏崎市～


ICT 小委員会では、「議会 ICT 化の取り組みについて」と題し、荏崎市議会へ視察を行いました。当日は、実際に使用されているタブレット端末を活用し勉強会が進められ、これまでの取り組みや現状の課題等についてご教授いただきました。

議会改革特別委員会 ICT 化小委員会では、令和4年度中の議会の ICT 化に向け慎重に協議を進めております。




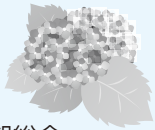
議会日誌

4月

- 1日(金) 年度初め式
議会だより編集委員会 
- 4日(月) 都留文科大学入学式
- 8日(金) 山梨県市議会議長会 正副会長事務局長会議
- 10日(日) 第48回ソフトボール大会総合開会式
- 11日(月) ICT化小委員会
- 13日(水) 関東市議会議長会 支部長会議
- 15日(金) 議会だより編集委員会
- 20日(水) 第267回山梨県市議会議長会定期総会
- 22日(金) 会派代表者会議
- 26日(火) 議会改革特別委員会
- 27日(水) 関東市議会議長会第2回理事会・第88回定期総会
- 29日(金) 市政功労者表彰式

5月

- 13日(金) 上野原市議会 総務産業常任委員会行政視察
はつらつ鶴寿大学入学式
ICT化小委員会 
- 16日(月) 第50回全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会
- 20日(金) ICT小化委員会 視察勉強会
- 24日(火) 第227回全国市議会議長会理事会
- 25日(水) 全国市議会議長会第98回定期総会

- 26日(木) 主要地方道都留道志線道坂トンネル建設期成同盟会定期総会
都留市民生委員・児童委員協議会定期総会
- 27日(金) つる大使委嘱式・つるピー生誕祭
- 28日(土) 岸田文雄 内閣総理大臣来県
富士山北麓地区火山砂防事業着工式
富士山火山噴火対策砂防事業促進期成同盟会総会
第29回都留市ふれあい全国俳句大会
都留機械金属工業協同組合懇親会
- 29日(日) 都留市文化協会総会
- 31日(火) 議会運営委員会 全員協議会
議会改革特別委員会 

6月

- 1日(水) 青少年育成都留市民会議定期総会
- 2日(木) 6月定例会開会
- 13日(月) 代表質問
- 14日(火) 一般質問
- 15日(水) 総務産業建設常任委員会
社会厚生常任委員会
- 16日(木) ICT化小委員会
- 17日(金) 議会運営委員会 全員協議会
6月定例会閉会 全員協議会
- 20日(月) 第38回ふるさと時代祭り実行委員会総会
- 29日(水) 会派代表者会議
- 30日(木) 第7回都留市セーフコミュニティ推進協議会



未来を紡ぐ 若者×議会

～若者と議会で織りなすこれからの都留市～



都留興譲館高校 3年
中村 禪さん



都留興譲館高校 3年
臼井 里奈さん

これからの都留市に望むこと

私は、都留市で生まれ育ってきました。その中で、都留市は歴史ある伝統の街だと感じています。戦国の歴史を感じられる勝山城跡や、八朔祭での、江戸時代の参勤交代を彷彿とさせる盛大な大名行列、美しく豪華な屋台などを楽しみに、県内外からも数多くの方が訪れます。近年のコロナ禍のために八朔祭も中止を余儀なくされていますが、このような伝統を絶やさないためにも、コロナ禍の終息や活気あふれる街づくりを願っています。

これからの都留市

都留市はとても住みやすい所だと思います。一方、少子高齢化や大都市一極集中の影響で、人口減少も進んでいます。そうした状況を改善するために、都留市の長所をもっと活かすべきだと思います。例えば、充実した福祉、首都圏への近さ、恵まれた自然環境などの情報発信や、活動場所が不足しているスポーツの施設整備などによって、移住者や訪れる人を増やすことも重要です。その結果、都留市がより良い街になることを願っています。

お知らせ

●議会報告会●

令和4年度都留市議会報告会は、新型コロナウイルス感染症のまん延状況を考慮し、代替事業の実施を検討しております。詳細が決まりましたら、改めてホームページなどでお知らせいたします。

●日曜議会●

新型コロナウイルス感染症のまん延状況を鑑み、本年度も日曜議会の開催は見合わせております。

次期定例会及び請願提出について

9月定例会日程（予定）

- 開 会 8月31日(水)
- 代表質問 9月12日(月)
- 一般質問 9月13日(火)
- 閉 会 9月26日(月)

請願提出締切日(予定) ●8月26日(金)

※定例会日程は、決定次第、市ホームページにてお知らせいたします。



数年、新型コロナウイルス感染症から始まり暗い話題と厳しい状況が続いておりましたが、世界的にも少しずつ動き出してきました。世界が再スタートをしていくような期待感と原油、原料、円安による経済の不安と変化の多い年となっております。

都留市においては、田原地区の地域交流センターの着工もしており、今後大規模公園整備など、前を向いて行ける政策展開が形になりだしております。

これからは、再チャレンジ!! 厳しい2年を乗り越えて新しい形づくりと、明るい未来に向かつて1つ1つ積み重ねて行く時。チャレンジすることこそ苦労ですが、もう一度個々の生活、都留市、国、世界と一丸となって創り上げていき過去最大級の世界的問題から一刻も早く立ち直り、幸せで楽しい日常が戻ってくるよう、個人としても議会としても尽力していく所存です。

編集委員 小林 健太

議会だより編集委員会

委員長 天野 利夫

副委員長 谷垣 喜一

委員 藤江喜美子

委員 小澤 眞

委員 小林 健太